

# 建通新聞

東京

総  
会

日測協

## 技術者資格制度 の活用拡大を

日本測量協会(日測協、清水英範会長)は23日、第76回定時総会を開き、空間情報総括監理技術者資格制度のさらなる活用を図る、2026年度事



業計画を報告した。測量CPDについては、ポイントの対象となる自己研さんプログラムを充実させることで、普及や登録者数の増加に努める。

開会に当たって清水会長は写真には、「協会ホームページのリニューアルが今夏に完了する見込み」とし、より会員企業に役立つ情報を発信できる体制となることを報告した。

26年度事業計画では、空間情報総括監理技術者資格制度がより多くの発注機関に活用されるよう

働き掛ける他、測量系CPDの一層の普及に取り組む。測量業務の環境変化に対応できるよう、測量・地理空間情報コンサルタント業務などに関する調査研究も推進するとした。

25年度の事業報告では、1月28～30日の3日間で実施開催した「G空間EXPO2026」に2万6659人が来場したことや、地方自治体など測量計画機関に対する無料講習会を全国11会場で開催し、402人が参加したことなどを報告した。